

2020年12月1日
ソーラボジャパン株式会社

SS-OCT システムに中心波長 1060 nm のラインナップが新たに追加

【米国ニュージャージー州ニュートン、2020年11月2日】 - ソーラボ社 (Thorlabs, Inc.) は波長掃引 OCT(SS-OCT) システムのラインナップに、中心波長 1060 nm の Atria™ を新たに追加したことを発表いたしました。当社特許取得済の MEMS-VCSEL 波長掃引技術が組み込まれたこの新システムのスキャンレートは、60 kHz(ATR206C1) および 200 kHz(ATR220C1) で、60 kHz の製品では 20 mm の超高深度イメージングを実現しています。

Atria は当社の波長掃引 OCT シリーズ VEGA™ で優れた実績を持つ、ロールオフと高感度性能を有しています。また Atria は Vega シリーズ同様、MEMS-VCSEL 波長掃引光源とイメージングモジュールが 1 つの筐体に納められ、イメージングモジュールには走査用電子回路と差分ディテクタを取付けた干渉計が組み込まれています。偏光コントローラ、センサゲイン、参照光強度など、主要なハードウェア制御部は付属のソフトウェア ThorImage® OCT で調整可能です。

Patrick Bachor (波長掃引 OCT システム開発エンジニア):

「Atria は、中心波長 1060 nm の MEMS-VCSEL ベンチトップレーザを使用されているお客様からのフィードバックに基づいて開発されました。中心波長 1060 nm において、高い軸方向分解能 11 μm、最大感度 102 dB を有する Atria の製品ラインナップは、眼科研究および計測における全く新しい応用分野での可能性を開きます。」

当社の他の OCT システムのラインナップと同様に、Atria は専用のイメージング対物レンズ付属スキャナ、スキャナ用スタンド、サンプル移動ステージを含む基本コンポーネント構成済みシステム、もしくは幅広いモジュールから各コンポーネントの組み合わせが選択可能なカスタム構成をお選びいただけます。

当社のすべての OCT システムは、画像取得ソフトウェア ThorImage® OCT 5.4 と、プログラミングが可能な OCT ソフトウェア開発キット (SDK) がインストール済みの高性能 PC とともに発送されます。カスタムデータ分析用の生データへのアクセスも可能です。

こちらの SS-OCT イメージングシステム Atria™ の詳細については、当社ウェブサイトをご参照ください。

● 製品詳細はこちら ▶

https://www.thorlabs.co.jp/newgroupage9.cfm?objectgroup_id=14141 (SS-OCT Atria™)

https://www.thorlabs.co.jp/navigation.cfm?guide_id=2039 (OCT システム & コンポーネント)

● このプレスリリースは、米国ソーラボ本社 (Thorlabs, Inc.) が発表した英文プレスリリースを翻訳、編集したものです。

原文はこちら ▶ <https://www.thorlabs.co.jp/PressReleases.cfm?ReleaseID=115>

ソーラボ社 (Thorlabs, Inc.) について : ソーラボ社は、レーザおよび光エレクトロニクスの研究市場向けの光学製品の総合メーカーとして 1989 年に設立されました。この市場では常に多くの技術革新が生まれてきたことから、産業分野、ライフサイエンス分野、医療分野、防衛分野と並び、研究分野における光学産業に貢献し、その役割を高めることに努め、中核技術を拡張させてまいりました。半導体レーザ、光増幅器、LN 変調器、量子・インターバンドカスケードレーザ、VCSEL レーザなどの半導体デバイス製造設備、ガラス製光ファイバ (石英、フッ化物) の線引き用ファイバタワー、MBE/MOCVD 結晶成長装置、ガラスをはじめ広範囲にわたる材料加工設備、薄膜蒸着装置、オプトメカニクスおよび光エレクトロニクス製品の製造設備など、高度に統合され、多岐にわたる製造施設を有しています。

お問い合わせ先 ▶ marketing.jp@thorlabs.jp (ソーラボジャパン 広告宣伝部)